

天溪 2016年「エベレスト街道 ゴーキョピーク 16日間」

第1部

「エベレスト街道 ゴーキョピーク 16日間」を11月9日～11月24日に行いました。

ネパールの首都カトマンズを中心に約200Kmほど離れて東西に対局するエベレストとアンナプルナ。この所1年おきにこの方面のツアーを行っており、今年はエベレストのゴーキョピーク(5360m)へ。トレックはトータル日数16日と短いながら一寸欲張り、レンジョパス(5417m)越えも入れました。参加者は写真のごとく沢山で総勢21名、5000mを越えるツアーにしては大人数ですがゴーキョピーク登頂20名(1名未達)、レンジョパスは全員で越えることが出来ました。下の写真はゴーキョピークで写した夕焼けのエベレスト・ローツェ・マカルーの頂。夕日に浮かぶ8000mの俊峰は何度見ても感激的で、正に「神ってる」景色でした。



(2016年11月17日 夕焼けのエベレスト・ローツェ・マカルー)

○ナムチェへ

毎度おなじみルクラからナムチェの風景。少し違うのは花が多く、秋が半月遅れの様でした。一方、何時も午後になれば雲が沸き、山の頂が隠れてしましますが、今年は何故か終日晴て幸先良いスタートが切れました。



(エベレスト街道 11/12日)



○ゴキョへ

ナムチェで高度順化の為に 2 泊し、ポルツェタンガ、ドーレ、マツチャルモと泊まりゴキョ(4790m)へ。道中草木は枯れ砂埃がすごいものの、正面にチョ・オーユ(8201m)の頂をとらえ、高山病にかからない様に慎重に高度を稼いで行きました。マツチャルモを過ぎ、更に進むとゴズンバ氷河のモレーンに至り、巨大な堆積物が視界を遮ります。そして急坂を登りきると氷河湖越しにゴキョピークの頂が見えて来ました。



(ゴキョ目指して 11/15)



○ゴークョピークへ

ゴークョピークと言っても遠目は木も氷河もない単なる枯れ山で、登るにつれ眼下にゴークョの集落と美しい氷河湖、その後ろにゴズンバ氷河が佇みます。更に高度を上げ、体力が限界に近付いた標高 5000m 辺りで漸くエベレスト、ローツェ、マカルーの峰々が現れ、感動と共に頂上を目指す気力が沸いて来ました。今回の目的の一つが頂上から夕日に染まる 8000m 峰を堪能する事。午後 5 時過ぎに始まった夕焼けとそれに続く夜のじまは、大自然の作りなす壮大なドラマでした。



(ギャチュンカン)

(エベレスト・ローツェ)



※簡単に言えば、標高 5000m で酸素は平地のほぼ半分になります。

※頂上からの夕焼けを計画される皆様はくれぐれも経験豊かなガイドを同伴して下さい。

次回はレンジョパス越えをお送りします。

天溪 赤沼